


<一般屋内用ダウンライト> 品番 **NFT92158U NFT92159U**
NFT93158U NFT93159U [電池内蔵型]

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。


安全に関するご注意



危険

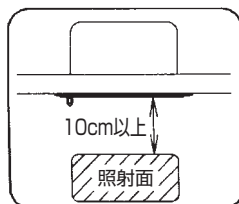
●断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。

断熱材施工
不可



・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

警告

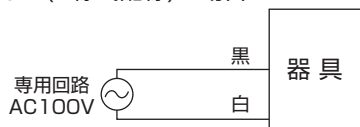
- 施工は、施工説明にしたがい確実に進行。
施工に不備があると非常点灯せず、正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。
火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 天井埋込専用ですので、壁取付・天井直付・斜め天井取付はしない。
火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 電源は専用回路とし、途中にはスイッチを設けない。非常点灯しない原因となります。
 - 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 器具と照射面の距離は、10cm以上離す。照射面の変形・火災の原因となります。
 - 交換部品（蛍光灯、蓄電池）は指定のものを使用する。指定外のものを使用すると、火災や非常時に正常点灯しない原因となります。
- 

注意

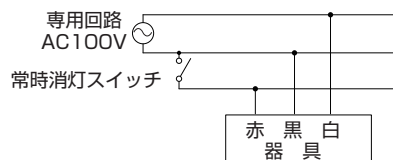
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃でご使用ください。指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。

配線方法

A.消灯なし(2線式配線)の場合



B.消灯あり(3線式配線)の場合



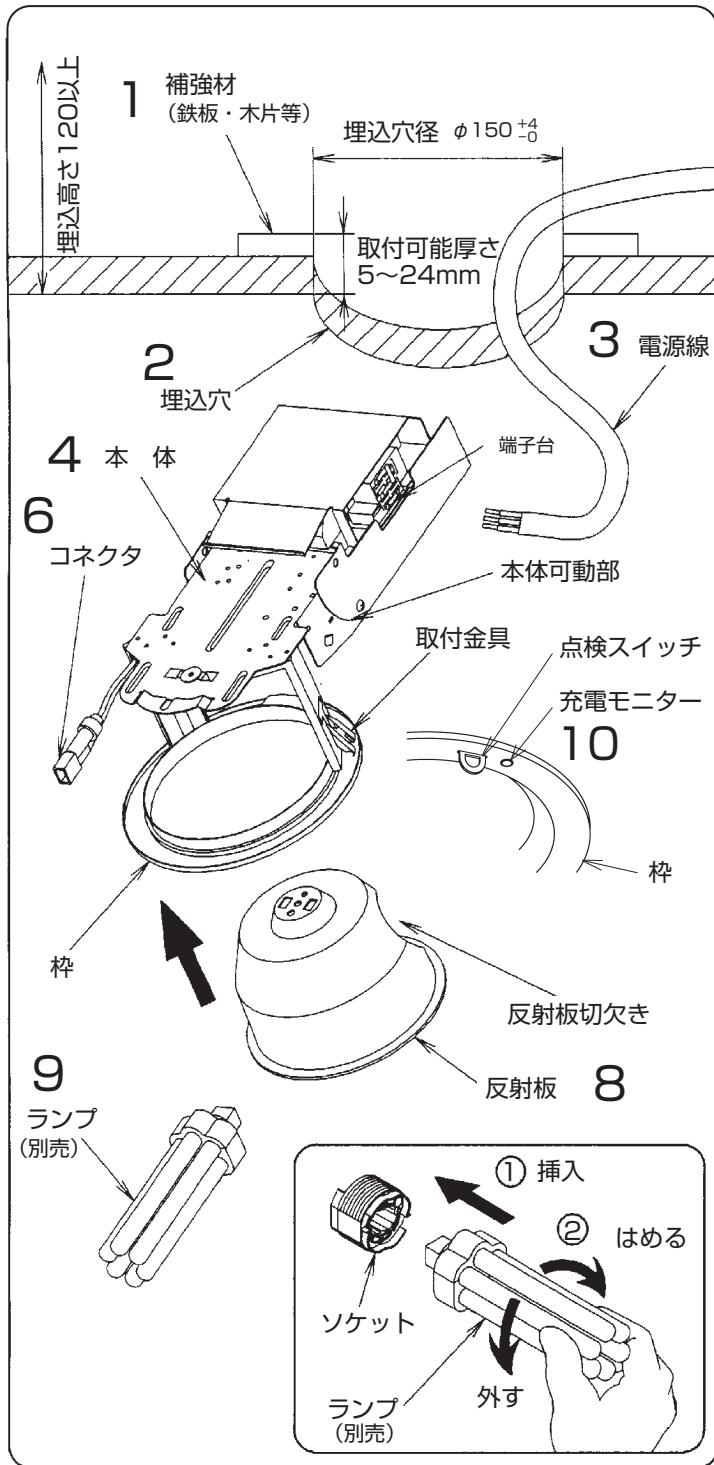
各部のなまえと取付方法



注意

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

ロックウール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。補強材なしの場合、光モレの原因となります。

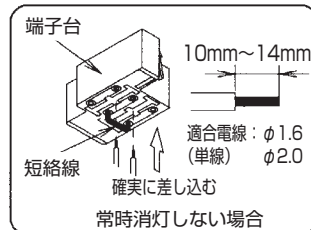


1 取付前の確認

- 器具質量(2.2kg)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。不備がありますと、落下によるけがの原因となります。
- 反射板を外す。
- 器具取扱いの際に本体可動部にて手ををさむ恐れがありますので、取扱いにご注意ください。

2 天井に埋込穴をあける。

- 埋込穴径は左図を参照してください。

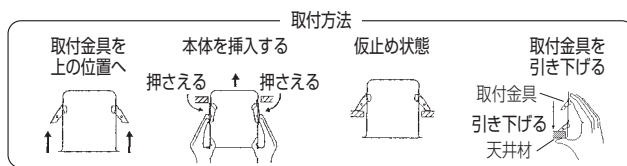


3 電源線を端子台に接続する。

- 電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
- 端子台の容量は15Aです。
- 常時消灯する場合短絡線を外してください。

4 本体を取付ける。

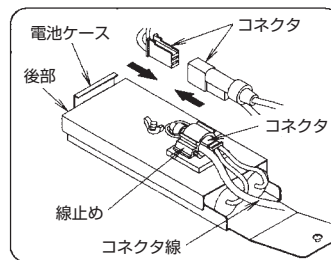
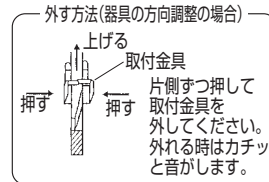
- 本体を天井埋込穴に入れ、取付金具で取付ける。



5 電源を通電する。

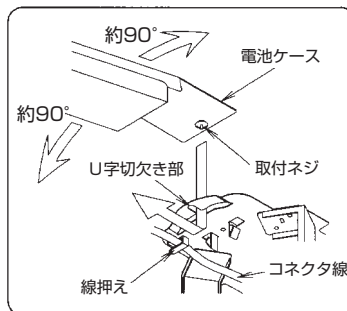
6 蓄電池を接続する。

- 蓄電池のコネクタを接続する。コネクタ及びコネクタ線を線止めに固定し、(右図参照)コネクタを電池ケースに取付けてください。



7 電池ケースを取付ける。

- 電池ケースを持ち、枠の中に入れて電池ケース先端の取付ネジのネジ頭を本体のU字切欠き部に引っ掛ける。(取付ネジの締め付けは不要です)コネクタ線を線押えで固定する。不備がありますと電池ケースの落下の原因となります。
- 取付後の電池ケースは水平回転約180°可動するので、必要に応じて可動してください。



8 反射板を取付ける。

- 反射板の切欠きをソケット側に合わせて反射板を取付ける。不備がありますと、落下によるけがの原因となります。

9 ランプ (別売) を取付ける。

- ランプを確実に取付ける。取付が不完全な場合、火災・落下によるけがの原因となります。

10 充電モニターの点灯を確認する。

- 正常に動作しない場合、「定期点検と処置・対策」の項を参照してください。

取付後の確認お願い

- 48時間充電（通電）後、点検スイッチを引っ張って点灯を確認してください。30分以上点灯すれば正常です。
- 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- 電源を通電しないまま蓄電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。
- 長時間使用しない場合は、蓄電池を放電させたあと、蓄電池コネクタを外して保管してください。
また、1年以上の長期保存の場合、自己放電による性能劣化や漏液防止のため最低1年に1回は充放電を行ってください。

取扱説明

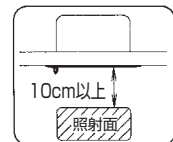
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 器具と照射面の距離は、10cm以上離す。照射面の変形・火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。
- 交換部品（蛍光灯、蓄電池）は指定のものを使用する。指定外のものを使用すると、火災や非常時に正常点灯しない原因となります。



注意

- 蓄電池を加熱したり、火や水の中に入れてください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は分解しないでください。火災・感電の原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣服をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にしないでください。破裂・やけど・火災・感電の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にランプ交換やお手入れは行わないでください。やけど・感電の原因となります。
- 照明器具には、寿命があります（※1） 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

保証について

- 保証について……………この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ・電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について……………保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の………弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

器具の仕様と交換部品

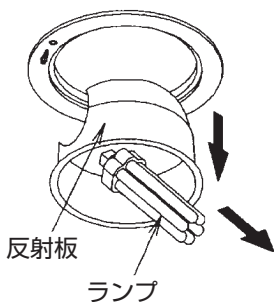
- 点灯中や消灯直後はランプやその周りをさわらないでください。やけどの原因となります。（専用電源電圧 AC100V 50/60Hz）

品番	NFT92158U NFT92159U	NFT93158U NFT93159U
入力電流 / 入力電力	0.26A / 25.5W	0.30A / 30W
交換蓄電池	FK849 (4.8V3000mAh)	FK859 (6.0V3000mAh)
適合ランプ	24Wコンパクト蛍光灯 FHT24EX-N (パナソニック製)	32Wコンパクト蛍光灯 FHT32EX-N (パナソニック製)

蓄電池交換方法 ……………下図にしたがい、確実に行ってください。

⚠注意（交換を実施される際は、必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。）

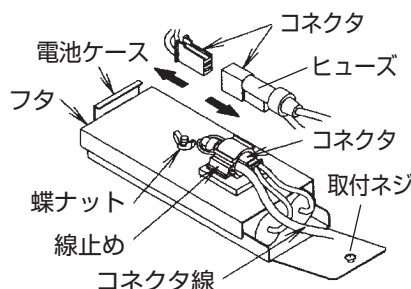
1. ランプ、反射板を外す。



2. 蓄電池を交換する。

- 1) 電池ケースを取外す。
- 2) 線止めからコネクタ及びコネクタ線を取外す。
- 3) コネクタを解除する。
- 4) 蝶ナットを取外し、フタを取外す。
- 5) 蓄電池を交換する。

●交換後の電池ケースの取付は、「各部のなまえと取付方法」を参照してください。



3. 反射板、ランプを取付ける。

取付が不完全な場合、落下や非常点灯しない原因となります。

定期点検について

- 3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお勧めします。6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)
- 使用条件、使用環境により異なりますが、一般に蓄電池の寿命は4~6年です。48時間以上充電して30分以上非常点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。寿命末期には、火災の原因となることがあります。
- 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

定期点検（3ヶ月に一度の外観点検、6ヶ月に一度の機能点検）と処置・対策

表にしたがって調べいただき、なお異常がある場合は、ただちに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

点検項目	確認項目	原因	対策		
外 観	器具の変形、損傷の有無		器具又は部品交換		
	反射板の汚れ		柔らかい布でふく		
機 能	モニターランプ（緑色）の点灯の有無	消 灯	蓄電池コネクタの外れ コネクタ内のヒューズ切れ	コネクタを確実に接続 ヒューズ交換 ※コネクタセット交換	
	点 灯				
	点検スイッチを引っ張り非常点灯に切替る	いいえ	充電不足	48時間以上充電	
	はい	点検スイッチを引っ張り非常点灯に切替る	いいえ	ブロックの異常	ブロックの交換
	はい				
	48時間以上通電している				
	電源を切る				
	蓄電池が30分間の非常点灯を維持できる	いいえ	蓄電池の寿命	蓄電池の交換	
	はい				
	電源を通電				
モニターランプ（緑色）の点灯の有無		完了	点検結果の記録		


■点検記録

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

 **Ni-MH** この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“有限責任中間法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。